

2020年5月12日

各 位

フィンテック グローバル株式会社

代表取締役社長 玉井 信光

(コード番号：8789 東証マザーズ)

問合せ先：取締役副社長 上席執行役員 鷲本 晴吾

電話番号 (050) 5864-3978

第2四半期連結累計期間業績と前年同期実績との差異に関するお知らせ

当社は、2020年9月期第2四半期連結累計期間（2019年10月1日～2020年3月31日）における業績につき、業績予想をしておりませんので、前年同期との対比について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年9月期第2四半期連結累計期間（2019年10月1日～2020年3月31日）業績と前年同期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前年同期実績 (A)	百万円 3,277	百万円 △1,467	百万円 △1,567	百万円 △1,244	円 銭 △6.50
今回発表業績 (B)	4,269	△495	△560	△581	△2.89
増減額 (B-A)	991	972	1,007	662	—
増減率 (%)	30.3	—	—	—	—

2. 差異の理由

当第2四半期連結累計期間は、投資銀行事業が堅調に推移し、前第2四半期の2019年3月開業のムーミンバレーパークの運営収益が期初から貢献したものの、臨時休園による機会損失や前期の第4四半期に公共コンサルティング事業の子会社を連結除外したことなどにより、売上高は4,269百万円（前年同期比30.3%増）、売上原価は2,968百万円（前年同期比27.6%増）、売上総利益は1,301百万円（前年同期比36.8%増）となりました。販売費及び一般管理費は、前第2四半期のメッツァの開業準備費用がなくなり、その他一時的費用や人件費も減少したことにより前年同期比25.7%減の1,796百万円となった結果、営業損失は495百万円（前年同期は1,467百万円の損失）、経常損失は560百万円（前年同期は1,567百万円の損失）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、臨時休園期間中の固定費（人件費、減価償却費等）71百万円を特別損失として計上したことや、非支配株主に帰属する四半期純損失73百万円により、581百万円（前年同期は1,244百万円の損失）となりました。

以 上